

平成25年度 施策達成度評価シート(24年度実績評価)

施策の柱		施策			
コード	名称	コード	名称		
1	いきいきとして安心できる暮らし	11	健やかに暮らせる健康づくりの推進		

評価責任者名	保健福祉部長 熊谷 俊彦
評価シート作成者名	保健福祉部次長 兼田 英典

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	健康が維持されている

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
3大生活習慣病の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率)(岩手県環境保健研究センター資料)H24実績値は未確定(H26.4月頃の予定)	%	↖	235.6 (※H22実績値)	226.0 (※H23計画)	239.5 (※H23実績値)	H24計画223.0 H25計画220.0	217.00
アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合(5年ごとに実施・次回は平成25年度)	%	↗	-	-	-	55.00	60.00
まちづくり市民アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合	%	↗	90.60	92.00	92.40	93.00	95.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
3大生活習慣病の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率)(岩手県環境保健研究センター資料)H24実績値は未確定(H26.4月頃の予定)	H23年 年齢調整死亡率(環境保健研究センター作成資料) 悪性新生物 市 136.2(男性:192.0 女性: 95.8) 県 129.4(男性:184.8 女性: 88.2) 心疾患 市 55.2(男性: 83.4 女性: 34.6) 県 63.5(男性: 90.6 女性: 42.5) 脳血管疾患 市 48.1(男性: 62.5 女性: 36.8) 県 55.0(男性: 73.1 女性: 40.7) 【合計 市 239.5(男性: 337.9 女性:167.2) 県 247.9(男性:348.5 女性:171.4)】
アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合(5年ごとに実施・次回は平成25年度)	他都市比較データなし
まちづくり市民アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合	他都市比較データなし

3 達成度評価結果

取組内容と成果	生活習慣に起因する内臓脂肪症候群や、がん等が疑われる早期の段階から改善や治療に取り組めるよう、各種健診の受診勧奨、健康教育・健康相談など、身近な地域での保健活動に努めた。 まちづくり市民アンケート調査において、「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合は、目標値を上回った。 3大生活習慣病の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率)について、H24実績値が未確定のため、前年の数値で見ると、H22の実績値が235.6、H23の目標値が226.0、H23の実績値が239.5となっており、数値を下げる目標値であることから、目標を達成することができなかった。
成果を押し上げた要因	「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた人の割合の増加要因については、地域の拠点施設において定例健康相談を実施したほか、健康相談窓口の紹介や、うつ病や自殺予防対策の一環としての「ゲートキーパー研修」の実施などが効果をあげていると考えられる。
目標と成果とにギャップがある場合、その要因	3大生活習慣病の年齢調整死亡率については、年によって多少の変動がみられるため長期的に見て評価をしていく必要があるが、平成15年以降の年次推移をみると、脳血管疾患の年齢調整死亡率は、ここ10年間で大きく低下の傾向にある。しかし、悪性新生物、心疾患は横ばいから若干増加傾向にあり、75歳未満の年齢調整死亡率も横ばいで経過している。がん検診受診率が低率にとどまっていることや、虚血性心疾患の原因となるメタボリックシンドロームは長い生活習慣の積み重ねで起こるが、特定保健指導等の利用者が少ないとされるから、生活改善の取り組みがまだ十分に浸透してきていないことが要因と考えられる。
これからの課題	3大疾病による死亡の割合は、依然として死因の6割を占めており、病気の早期発見・早期治療のための健診受診率の向上がさらに求められる。また、日常の健康管理のほか、生活習慣病予防や介護予防等、将来安定したQOL(生活の質)の向上を獲得するため健康に関する投資的な予防が必要である。そのためにも、市民が気軽に参加できる健康教育・健康相談等の実施や健康づくりをサポートする関係機関、食生活改善推進員団体連絡協議会などとの一層の連携を図りながら、市民自らが主体的に健康づくりに取り組む環境づくりを進める必要がある。 また、全国的にも食中毒の防止等、食の安全が重要な課題となっており、特に食品衛生については、法令等と最新の科学的な根拠に基づく監視指導を推進するとともに、正しい食品衛生知識を普及啓発する取り組みを一層強化する必要がある。

4 各主体に期待する役割

	役割の内容
市	生活習慣病の予防及び早期発見を促すため、がん検診や特定健診の受診率の向上に努めるとともに、食生活の改善や運動習慣の定着等による一次予防に重点をおいた対策及び合併症の発症や重症化予防に重点をおいた対策を推進する。 また、健康づくりサポーターとの連携した活動により、個人の健康づくりを支援する環境を作る。
国・県・ 他自治体	生活習慣病対策の総合的な推進を図るほか、医療や介護など様々な分野における支援等の取組を進める。 健康格差の縮小や健康寿命の延伸に向けて、「健康日本21プラン」に基づいた啓発活動や関係団体と連携した取り組みを行う。
市民・NPO	市民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、積極的に生活習慣の改善に取り組むことにより病気を予防する。 また、検診を積極的に受診し、病気の早期発見、早期治療に努める。
企業・その他	働き盛りの年代の生活習慣病予防対策や喫煙によるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の予防、受動喫煙の予防、メンタルヘルス等、職場における健康づくり活動に取り組む。

5 成果達成への基本事業の貢献度

基本事業 名称		比重
コード	111 健康の保持増進	30
112	保健・予防の推進	60
113	生活衛生対策の推進	10

平成25年度 施策達成度評価シート(24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
1	いきいきとして安心できる暮らし	11	健やかに暮らせる健康づくりの推進
基本事業			
コード	名称		
111	健康の保持増進		

評価シート作成者名	保健福祉部次長 兼田 英典
-----------	---------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	健康を保つ活動が行われている

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
健康教育・相談者数	人	↗	16,018	20,810	16,849	17,000	20,810

3 役割分担分析

各主体の役割の状況		役割の内容	役割分担比率(%)
各主体の役割の状況	市	保健推進員等関係組織、ボランティアの育成支援。健康診査の受診勧奨と事後指導。健康教育・健康相談機会の提供と充実。市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりサポーター(家庭・地域・学校・職場・各団体など)との連携を促進する環境作り。健康づくりに関する知識の普及啓発。	30
	国・県・他自治体	関係法令の整備や健康日本21プラン、健康いわて21プランによる健康づくり施策の実践(疾病や健康に関する情報の収集・データ分析、健康増進や疾病予防に関わる知識の提供)。事業費の負担。	30
	市民・NPO	各種健診等で自らの健康状態を把握し、有所見者にあっては、その改善をするとともに、日々の暮らしの中で、積極的に健康の保持増進に努める。また、こうした市民の活動を支援する。	20
	企業・その他	企業内での健康増進を図るとともに、健康づくりサポーターとしての事業参画や協力を行なう。また、医療等関係団体の専門分野を生かした情報の提供、支援を行なう。	20

平成25年度 施策達成度評価シート(24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
1	いきいきとして安心できる暮らし	11	健やかに暮らせる健康づくりの推進
基本事業			
コード	名称		
112	保健・予防の推進		

評価シート作成者名	保健福祉部次長 兼田 英典
-----------	---------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	病気にならないようにする

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
全結核罹患率	%	↓	6.10	7.40	9.00	8.00	7.00
乳幼児予防接種の接種者の割合	%	↗	95.00	95.30	95.00	95.30	96.00
高齢者予防接種の接種割合	%	↗	55.10	55.60	53.00	55.60	56.50

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	心身ともに健康を保持し、生涯を健やかに暮らすことができるよう、健康教育や訪問指導などの地域に密着した活動を推進して、市民が主体的に健康管理や健康増進に取り組める環境作りを進める。また、市民が病気にならないよう、生活習慣病の早期発見と予防のための各種健診や予防接種を行なうとともに、健診受診率の向上を図るなど健康を保つ活動を推進する。	40
	国・県・ 他自治体	関係法令等の整備、健康づくり施策の実施と情報提供を行なう。	10
	市民・NPO	健診や各種検診等で自らの健康状態を把握し、有所見者にあっては、その改善に心がけ、健康の保持増進に努める。	40
	企業・その他	安全衛生に関する環境整備や健康管理への支援を行なう。	10

平成25年度 施策達成度評価シート(24年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
1	いきいきとして安心できる暮らし	11	健やかに暮らせる健康づくりの推進
基本事業			
コード			
113			生活衛生対策の推進

評価シート作成者名	保健福祉部次長 兼田 英典
-----------	---------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	良好な衛生環境が保たれている

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H24実績値	H25計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
立入検査の計画に対する実施率	%	→	94.00	100.00	96.00	100.00	100.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担比率(%)
各主体の役割の状況	市	生活衛生、食品衛生に係る許認可業務及び関連する試験検査業務並びに動物愛護・狂犬病予防業務の推進	85
	国・県・他自治体	試験検査業務の一部を県に委託	5
	市民・NPO		0
	企業・その他	食品衛生推進業務の委託、狂犬病予防業務(犬の登録及び狂犬病予防注射業務)の委託	10